

# 報寺敬覚

1 月号



月刊 ● 敬覚寺報

〒177-0032 東京都練馬区谷原6-8-12  
TEL 03(3996)1833 大江義宏

▼二〇〇二年一月一日 ▲

メキシコ

## ● 古代都市テオティワカン

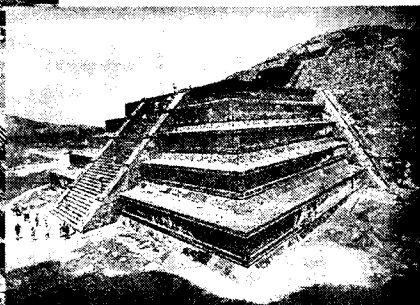
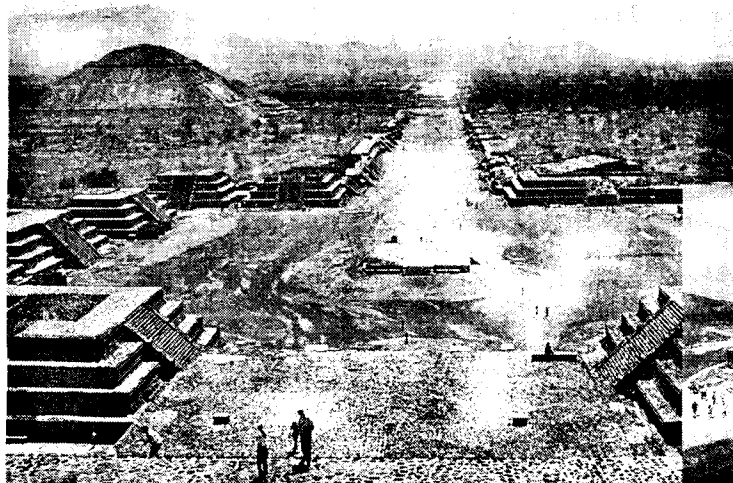
メキシコの首都メキシコシティの北東40km。紀元前二百年頃にこの古代都市は形成され始めたといわれています。最盛期には20万人もの人々が暮らしていたと思われていますが、8世紀頃に滅びたとされています。消滅の理由はわかっていません。

古代都市の中心は「太陽のピラミッド」「月のピラミッド」を結ぶ大通りです。道沿いには多くの神殿や宮殿が並んでいます。

この都市の一番の不思議は、これほど発達した文明を持ちながら、文字らしきものが残されていないことです。テオティワカン(神々の座)という名をつけたのは、14世紀にここを発見したアステカ人だといわれています。

うけつがれるもの うけついでいく心

— 世界遺産 —



左奥に見えるのは「太陽のピラミッド」  
高さ65m、一辺は225m。  
中央が大通りとなっている。

「月のピラミッド」高さ46mと  
太陽のピラミッドより少し小ぶりである。



# ハワイ開教・その感動

ハワイ別院輪番

川路 広美



皆さん、明けましておめでとうございます。平成十四年度の門出を共にさせていただけます事を、大変嬉しく、有難く思っております。今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年は「私と浄土真宗」と題して書かせていただきましたが、今年は、ハワイの事情や、伝道活動の実際について知りたいとの御要望に答えて「ハワイ開教・その感動」と題して書かせていただく事に致しました。

皆さんも御存知と思いますが、ハワイは太平洋のやや中央に並ぶ大小八つの島から成り立っております。米国第五十番目の州です。私は一九六一年八月十日に、ホノルル港に着き、ハワイ開教区の開教使としての任務に就きました。

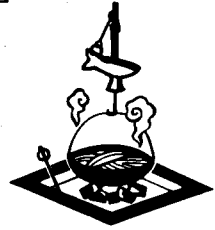
当時のハワイの産業は砂糖とパイナップルが主で、その耕地にお寺がありました。そしてそれらの主な寺院は日本語学校を経営しておりました。でも今日では砂糖耕地やパイナップル工場が閉鎖され、それらの地域の寺院は兼務寺院となり、運営も大変困難なところもあります。

各寺院では、日本と同じように、報恩講、春季彼岸会、降誕会、盆会、秋季彼岸会、永代経法要の六大法要を勤修しています。また、花まつりや、成道会の法座等もつとめていますし、母の日、父の日、敬老の日のような行事も盛んです。特に盆おどりは、多くの人々が参加する仏教行事として大変有名です。二世、三世、四世そして五世の人々が一緒に集

う楽しい行事となっております。

法座の勤行には、主に重誓偈、讚仏偈、正信偈、十二礼（日本語と英語）が用いられています。また「しんじんのうた」や「らいはいのうた」がよく用いられている寺院もあります。どの寺院にも婦人会があり、婦人会の活動の盛んな寺院はお寺も伝道活動が盛んと云えます。伝道活動は二世から三世、四世へと巾広く、英語が主となりました。日系人以外の信者も多いです。それぞれの地域の事情によって、伝道の方法や、団体活動や、行事内容が異なりますが、とてもまじめな浄土真宗の伝道が展開されています。

私が地方の寺院に駐在していた時の事です。大事な法要の日に大雨となりました。とても高齢の方々の参詣は無理と判断して、御講師と相談し、風雨がもつと強くなったら法座を中止した方がいいのではないかとということになりました。そこですぐ代表的な方に電話連絡をしました。すると「先生、風雨だからこそ、進んでお寺参りをさせていただきますよ。私が少し早目に、車で足の不自由な方々を迎えに家庭を廻ります。法座は休まないでください。」と云われました。そしてその日は大へんお参りの多い法座となりました。法要後、私はその方を御講師に紹介しましたが、笑顔に涙がいっぱいでした。有難いとも、もつたないとも、恭げないともその表現に困る程の感動を覚えた日の事を、私は今でも忘れる事はできません。



## 干支(えと)

経子◇明けましておめでとうござ  
います。今年もよろしくお  
願います。

住職◇やあ経子さん、おめでとう、  
いい正月ですね。

経子◇今年は午年ということ、  
年賀状に馬の絵が多くあり  
ましたが、「午」に「馬」の  
意味があるのでしょうか。

住職◇いいことに気が付きまし  
たね。十干十二支(じっかん  
じゅうにし)という中国か  
ら伝わった暦で、午年を

「馬」年に当てているので  
す。昔の人は覚えやすいよ  
う動物の名を付けました。

経子◇ね・うし・とら・う・た  
つ・み・うま・ひつじ・さ  
る・とり・いぬ・い、で十  
二支は言えますよ。

住職◇よく知っていますね。中国  
では漢字の子丑寅卯辰巳午  
未申酉戌亥で表します。

経子◇じゃあ十二年で一回りな  
ですね。

住職◇これに十干を組み合わせて  
いくのですよ。十二と十の最  
小公倍数はいくつでしょう。

経子◇ええと、六十になります。  
住職◇そうですね。だから六十年  
で元に戻るの、六十歳を

還暦といつて祝うのです。  
経子◇十干というのは何ですか。  
住職◇甲乙丙丁戊己庚辛壬癸をい  
います。日本語だと「えと」

つまり兄弟(えと)に分け  
甲はきのえ、乙はきのと、  
丙はひのえ、丁はひのと、  
戊はつちのえ、と順番に、  
木(き)火(ひ)土(つち)

金(か)水(みづ)の五つ  
を兄弟に分け呼ぶのです。  
経子◇あら「えと」は兄弟のこと  
でしたか。

住職◇そうですね。それで今年  
は壬午(みずのえうま)です。  
経子◇それじゃあ、今年還暦を祝  
う私のおじさんは六十年前

の壬午の生まれですね。  
住職◇その通り。昔は干支で年を  
記録しました。親鸞聖人の

著した「教行信証」に干支  
で書かれた箇所があります  
よ。承元丁卯に法然上人と

同じ流罪法難にあつたこ  
と、建暦辛未に赦され、法  
然上人は京都に帰り、同二

年壬申に入滅されたことが  
記されています。ご自身に  
ついては、原文で「しかる

に、愚禿釋の鸞、建仁辛酉  
の暦、雑行を捨てて本願に

帰す。元久乙丑の歳恩恕を  
かぶりて『選択』を書しき。』  
とあります。

経子◇それで何が分かりますか。  
住職◇そう、格調高い漢文です。  
承元丁卯(ひのとう)は

一二〇七年、建暦辛未(か  
のとのひつじ)は一二一  
一年、また建仁辛酉(かのと  
のとり)は一二〇一年親鸞  
聖人二十九歳、元久乙丑

(きのとうし)は一二〇五  
年聖人三十三歳、承元丁卯  
(ひのとう)は一二〇七  
年聖人三十五歳だったこと  
がわかるのだね。

経子◇「えと」で占うって聞いた  
んですけれど。

住職◇浄土真宗は、まったく占  
いません。干支は年や方角を  
表すだけで、それに良し悪

しを付けることは仏教の因  
果の道理に反しています。  
迷信におどらされてはいけ  
ませんね。親鸞聖人のご和

讃にありますよ。

「かなしきかなや道俗の  
良時・吉日えらばしめ  
天神地祇をあがめつつ  
卜占祭祀つとめとす」  
経子◇ありがとうございます。

謹賀新年

■新年あけましておめでとうございます。日頃のご交誼を感謝申し上げますと共に、本年も相変わりませず、お育ていただけさま、御願ひ申し上げます。昨年に引き続き、本年も毎月、寺報をお届け申し上げます。御愛読いただけます様、重ねて御願ひ申し上げます。

住職

■元旦法要

十二月三十一日の除夜会に引き続き、修正会（元旦法要）が営まれます。築地本願寺では午前六時十五分より。お揃いで、新年のおつとめをいたしましょう。

■成人式

月十二日（土）、築地本願寺にて、十時三十分より。成人おめでとうございます。新しい門出をお祝い申し上げます。

お問い合わせは〇三―三五四一―一三二一まで。

お仏具を考える

◆三具足◆

お花立、ローソク立、香炉の三つを合わせて三具足（みつぐそく）と申します。お仏具の基本中の基本ともいえましよう。お花立には生花を入れます。ローソク立は燭台（しよくだい）とも申します。ローソクを立てます。香炉には本香炉と前香炉の二種類がありますが、通常は本香炉（香を焚く香炉）を省略して前香炉（まえこうろ）・お線香を短く折って横に寝かせる香炉を置くことが多い様です。ご本尊に向かつて一番右にローソク立中央に香炉、左に花立を置くのが正しい置き方です。

花立を2ヶ、火立を2ヶ、香炉1ヶの場合には合わせて五具足と申します。三具足よりはより正式な形と言つて良いでしょう。五具足の場合は中央に香炉、香炉の両側に火立、火立の外側に花立を配置いたしました。枯れたお花を置きっぱなしにしたり、口の放置したりしないよう、仏前の莊嚴をいたしましょう。



平成十四年 年回表

ご法事は早めにお寺の都合を聞いてからお決め下さい。

一周忌	平成十三年歿
三回忌	平成十二年歿
七回忌	平成八年歿
十三回忌	平成二年歿
十七回忌	昭和六十一年歿
二十三回忌	昭和五十五年歿
二十七回忌	昭和五十一年歿
三十三回忌	昭和四十五年歿
三十七回忌	昭和四十一年歿
五十回忌	昭和二十八年歿
百回忌	明治三十六年歿